



龍澤寺開祖、梅山問本という人

郷土歴史資料館では、現在御簾尾地区にある龍澤寺の宝物展を開催しています。このきっかけは、サブタイトルにもあるように、今年が開祖梅山問本禅師の没後六百年に当たることからです。

では、そもそも梅山問本禅師とはどのような人なのでしょう？美濃国（現在の岐阜県）出身で、幼いころから仏門に入ったといわれています。成長し、諸国を巡る中で曹洞禅に出会い、修行を重ねて悟りを開いていきました。梅山禅師は都でもその名が知られており、室町幕府将軍が梅山禅師に会いたいために上洛要請をしましたが、それらをすべて断り、禅の修業に励みました。また、梅山禅師は個人が優れていただけでなく、教育者としても優秀で、多くの素晴らしい弟子を育てていきました。梅山禅師の法系に連なるお寺は全国に4000カ寺もあります。

ここに掲載している絵は、梅山禅師の一生を描いたもので、悪人を改心させて弟子とした話など、描かれているお話は縁起としても龍澤寺に伝わっています。この絵とここに描かれているお話をわかりやすくイラストつきで説明したパネルを企画展で展示しています。12月4日まで開催していますので、梅山禅師の事跡とあわら市内に伝わるすばらしい文化財の数々をぜひご覧ください。



梅山禅師御絵伝
〔文化十三（1816）年〕

第4回ふるさと講座 開催！

碑。「事跡や業績などを後世に伝えるために、その事実を文章にして石に刻み地上に建てたもの」（日本国語大辞典より）。あわら市内にも先人たちの偉業をたたえた碑が数多く残されています。それらを見て本にまとめた市村敬二先生に、代表的なものの解説と見所をお話いただきます。

とき 12月11日（日）13時30分～
ところ 金津本陣 IKOSSA 3階 研修室1
テーマ あわらの碑
講師 市村 敬二氏
（『ふるさと芦原町
碑探訪』著者）

参加費 無料
定員 30人（申し込み不要）



▲浜坂の鯨塚

郷土歴史資料館（金津本陣 IKOSSA 2階）
休館日 月曜日・第四木曜日（祝日の場合はその翌日）
開館時間 9時30分～18時（最終入館17時30分）
問合せ ☎73-5158



領土を取り返せ！ 第2回 鹿島の森伝説
越前・加賀県境綱引き

あの敗戦から一年……
雪辱の時は来た

10月23日（日）、第2回 鹿島の森伝説県境綱引きが、越前・加賀県境の館前特設会場にて行われました。

このイベントは、あわら市と加賀市に伝わる神話に倣い、綱引きの結果で県境を移動させるというユニークな企画です。両市の交流を深め、地域の活性化につなげようと、両市民が中心となって昨年初開催されました。

第1回は、加賀国（加賀市）にあえなく完敗した越前国（あわら市）。その借りを返さなければ帰れないと、試合前から気合をみなぎらせていました。

▲天獅子の太鼓でにぎやかに開幕。



▲芦原温泉の女将と旦那も激励。

▲加賀市伝統のシャシャムシャ踊りも。

今年、市民チームによる「民の綱引き」の部と、両市の市長率いる選抜メンバーによる「神の綱引き」の部の2部構成に変更。勝ったチームの属する國にポイントが入るとのことです。どの試合も負けられない戦いとなりました。

まずは、「民の綱引き」が行われ、越前国から12チーム、加賀国から11チームが参加。引いて引かれての五角の戦いが繰り広げられる中、17対11で越前国が一步リードしました。

そして、勝負はいよいよ「神の綱引き」へ。加賀の女神に扮した加賀市の宮元市長と、越前の男神に扮したあわら市の橋本市長が登場し、それぞれ口上を読み上げると、会場の熱気も一気に高まっていきました。

「神の綱引き」は、3本勝負。1戦ごとに行司がくじで引いた点数が「民の綱引き」の点に計算されるとのことです。リードしている越前国もまだまだ油断は禁物でした。

1戦目は加賀国が勝利し、4点を獲得したため、一気に2点

民の綱引き、神の綱引き

差に。対する越前国も、昨年の二の舞はごめんとばかりに意地を見せて2戦目に勝利し、6点差に戻してみせました。

雌雄を決する3戦目は、越前國の気迫が勝ったのか、終始優位に進めて勝利。この瞬間、県境を加賀市側に1メートル押し戻すことが決定しました。



▲ハイタッチで交流。



▲選手も応援も熱い！



▲大人たちも真剣。



▲女子だって負けていない！



▲最終決戦の前に気合を入れ直す両國。



▲橋本市長、歓喜の胸上げ！！



▲県境は元通りに。

そして、勝負は来年へ

昨年の結果を含めると、1勝1敗の完全な五分。次こそ真価が問われると、両チームはまた来年の再戦を誓っていました。

「県境の館」入館者1万人目
セレモニーが行われました

昨年4月にオープンした「越前・加賀県境の館」の来館者が1万人を迎えたのを記念して、セレモニーが行われました。1万人目は、柴山さん家族。県境の館管理運営委員会より、記念品が手渡されました。



福井しあわせ元気国体2018
福井しあわせ元気大会2018

国体 がやってくる！



福井国体マスコット はぴりゅう
問合せ 国体推進課 ☎73-8033

もっと知ろう！ 平成30年福井国体

「2016 希望郷いわて国体」で、あわら市在住の選手が入賞しました！

ソフトボール競技

高政 栄里 選手（田中々）

成年女子 3位入賞



▲後列右端：高政選手

高政選手にインタビュー

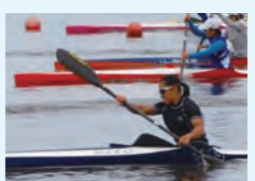
41年ぶりの準決勝進出、3位入賞という形で岩手国体を終えて、最初に出てくる言葉は「感謝」です。今大会を迎えるにあたり、家族をはじめ、地元や職場など多くの人たちに応援とご支援をいただきました。その一つ一つが大きなチカラになりました。

来年はさらに上位を、そして再来年開催される福井国体では優勝目指して頑張ります！

カヌースプリント競技

山下 友理子 選手（田中々）

成年女子カヤックシングル
200m 4位入賞
500m 4位入賞



山下選手にインタビュー

岩手国体を終えて、4位という結果でしたが、悔しい反面入賞することができてほっとしています。この結果に満足することなく、良い結果が残せるよう福井国体に向けて、練習に励みたいと思います。

